

鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画の策定にあたって

鎌倉は、先人の英知とたゆまぬ努力の積み重ねによって、美しい自然環境と豊かな歴史的文化的遺産を保っています。

これからも、先人が築き上げた歴史、文化そして風土を次の世代に引き継いでいかなければなりません。

そのために、「鎌倉の魅力を継承しつつ、次世代に過大な負担を残さない」ことを前提として、「鎌倉市公共施設再編計画」を策定するとともに、市民の皆さんの生活を支える社会基盤施設についても、将来の更新や維持管理に必要となる経費の予測を行い「鎌倉市社会基盤施設白書」を平成27年3月にまとめました。

その結果、今のままでは社会基盤施設を適切に維持管理することができず、安全の確保が困難になる不安があるため、マネジメント計画が必要であることが明らかになりました。

このマネジメント計画の策定には、管理の視点、サービスレベルの視点、コストの視点など多角的な検討が不可欠です。

このため、有識者で構成する社会基盤施設マネジメント計画策定委員会を設置し、専門的な知見を取り入れ、市民の皆さんのニーズを的確に反映できるよう検討を重ねてきました。

そして、社会基盤施設の長寿命化や合理化、必要となる経費の平準化と削減などを総合的に実施し、持続可能なまちづくりを実現するためのマスタープランとして「鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画」を策定いたしました。

この計画に基づき、市民の皆さんが安心して安全な生活ができるように社会基盤施設を適切に維持管理していくことこそ、鎌倉のまちを次世代に胸をはって引き継いでいくことになると信じています。

今後は、本計画の推進に全力を挙げて取り組んでまいりますので、市民の皆さんの御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

平成28年3月

鎌倉市長 松尾 崇